



なばり

2020年(令和2年)7月10日発行

主な内容

- 1・2……名張市多文化共生センターのご案内
- 3……マイナポイント
- 4・5……今年の夏はジモト旅
- 6……図書館・やまなみ号
- 8……8月の相談、新型コロナ対策

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

名張市多文化共生センター NabiChan なびちゃん の職員に聞く

外国人との お付き合いQ&A

市内で外国人住民が増えている中、外国人住民の支援・交流拠点となる「名張市多文化共生センター」【愛称:NabiChan(なびちゃん)】が、今年2月に開設し、地域や職場、学校などで外国人と日本人が共にわかりあえるように、さまざまな取組を進めています。

☎ お問合せ先 | 多文化共生センター ☎64-6711 (月曜休館)

Q 外国人住民に伝えたいことがあるけれど、日本語が通じない。どうしたらいい？

A やはり、言葉が大きな壁に。暮らしのルールやお知らせを外国人住民に伝えるお手伝いをします。

センターでは、ごみの出し方を多言語化したチラシを作成したり(センターに備え付け。HPにも掲載)、小中学校や地域が作成するお知らせを翻訳したりしています。

「ルールが守れない行動」には、きっと理由があります。そして、それは、言葉の壁であることが多いのです。ご近所の外国人の行動で困ったことがあれば、私たちにご相談ください。何が出来るか一緒に考えましょう。

Q ズバリ、外国人とどう接したらいいのか分からない。生活習慣も考え方も違いますし…。

A 出身国で性格付けをしてしまいがちですが、同じ地域に住む一人の住民として接してみてください。

国が違えば生活習慣や考え方が異なります。ただ、国ごとに性格付けをするのではなく、一人ひとり考え方や性格が違ふことを理解して、同じ地域に住む一人の住民として接してみてください。

「外国人だから」と言われることを気にして、「疲れるときもある」という声も…。ご近所さんに挨拶をしてもらっただけでも、「気にかけてくれているんだ」と安心して緊張がほぐれるそうです。お互いが、このまちに住んでよかったと思えるようにしていきたいですね。

2ページへ続く



外国人も
日本人も
暮らしやすい
まちに!

センター職員
松崎 瑠美

センター総括リーダー
手塚 倫生

名張市多文化共生センターの愛称「NabiChan」に決定

4・5月にセンターの愛称を公募し、89点の応募からオーストラリア在住のマシューさんの作品「NabiChan」を選考。【Nabari(名張)】や、【Navigation(導く)】、【Channel(人と人を繋ぐ)】などの英単語から連想いただきました。キャラクターは愛称を元に職員が考案。市の木「もみじ」と市の鳥「うぐいす」がモチーフで、星のステッキはセンターの役割を示し、航海を導く星のように利用者を案内することや、星の下に人が集い、繋がる目印を表しています。

Q 新型コロナウイルス感染症対策など、外国人に重要な情報は伝わっているの？

A ホームページやSNSで、多言語での情報を発信。情報拡散やサポーター登録など皆さんのご協力もお願いします。

感染防止や特別定額給付金をはじめ、感染拡大の影響に伴う解雇や帰国困難に関する事など、さまざまな情報をホームページやSNSで、できる限り多言語化して紹介しています。

まずは、センターを皆さんに知っていただきたいと思い、愛称を「NabiChan」とし、キャラクターも作成しました。これから、市民センターにポスターやカード型のチラシを設置させていただいたり、事業所を訪問して、課題の聞き取りを行ったりと、地域に向かいPRしていきます。

困っている外国人がいれば、NabiChanをご紹介します。また、通訳・翻訳や日本語教師のサポーターに登録いただくなど皆さんのお力添えをお願いします。



Staff Rumi

General Leader Michio


Q 外国人や日本人と交流できますか？

A はい。名張に住む外国人と、なかよくなるパーティーを計画しています。また、近くに住んでいる人たちとなかよくなるイベントができるようにお手伝いをしていきます。



Q 日本語を教えてください？

A はい。NabiChanには、日本語教室があります。子どもや大人、日本語を話せない人や少し話せる人、平日に行ける人や休みに行ける人など、いろいろなクラスがあります。しかし、希望する人が多いので待つことがあります。お金はかかりません。申込をしてください。



Q 税金や引っ越しなどの手続きが難しい…

A 困ったときはNabiChanに相談してください。私たちができることを考えます。NabiChanや市役所には翻訳ができる機械もあるので、気軽に助けを求めてください。また、ホームページやSNSを見てください。



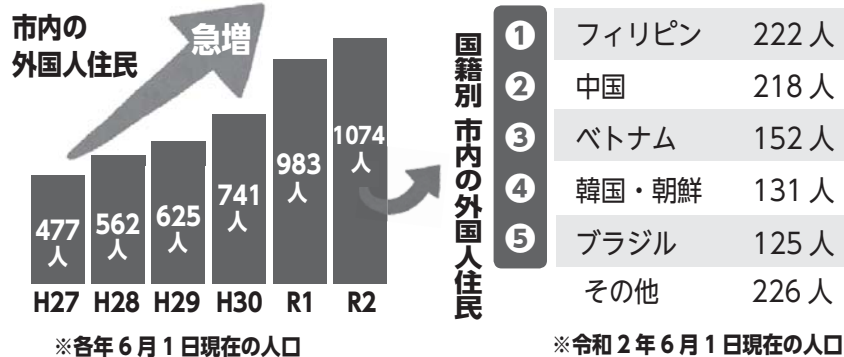
◎NabiChanでは、8月1日・8日・15日・22日に、夏休みの宿題をお手伝いします。対象は親が外国人の小学生です。お金はかかりません。申込をしてください。



あなたの地域で「多文化共生」を進めていきませんか？

外国人の皆さんには、ごみ出しなど、地域のルールは守っていただく必要があります。しかし、日本の慣習や文化には、無理やり合わせていく必要はないと考えています。それが、「多文化共生」の考え方です。名張に住む外国人のいろいろな文化が、名張の中で花開いていくことが理想ですが、残念ながら「偏見の目でみられてしまう」といった外国人の声が寄せられて

いるのが現状です。市内で外国人住民が急増している中、外国人と日本人が交流し、相互理解できるようなイベントを地域で催していただくお手伝いをしたいと考えています。地域で災害など緊急事態にも備えておく必要もあります。外国人とコミュニケーションをとると、日本人として気付かされることや学ぶこ



ともたくさんあります。日本人の皆さんには、外国人を受け入れていくことが、地域にとってプラスになると、とらえていただければと思います。



名張市希中央5-19
なばりえ2階
市民情報交流センター内

※車でお越しの際は駐車券をお持ちください

☎ 64 - 6711
FAX 63 - 5326
✉ tabunka@emachi-nabari.jp
開館時間：午前9時～午後5時
休館日：月曜日・年末年始

名張市 多文化共生センター (NabiChan)

多文化共生センター ホームページ HomePage
<https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/>

Facebook (アカウント：名張市多文化共生センター)
<https://www.facebook.com/tabunka.nabari/>

LINE (アカウント：@788bfpdh)
<https://lin.ee/2yJ2LaW> 「友だち追加」で、災害時などにメッセージが届く

ご存知ですか？「やさしい日本語」 「土足厳禁」を「靴をぬいでください」と言い換えたり、ルビをふったりするなど、外国人に分かりやすいように配慮した日本語のことを「やさしい日本語」といいます。外国人だけではなく、子どもなどにも伝えやすくなります。また、「マスクをしてください」などの注意事項を、イラストを指さして伝える「指さしツール」など、外国人とのコミュニケーションを図るために、いろいろな方法があります。